



敬啓
 閣下益々清平康健
 之為大慶也幸甚
 初生多吉五月下旬
 先女志喜之在経南
 津之海 香澤原東
 仙頭原の福岡上向
 藤州松州以北糸
 志津一歩岡新氏
 此孝夫大連後仰等
 祝意之惟韓馬下
 新物お成立の如言後
 新の迄より多事後
 新と北東より書祝
 王及那相氏と面会処
 何かも半素より因り
 有爪の吹着一居る
 一より書祝申上り言様
 傳言ねん申も書
 親王の少き
 自気今夜民政部の
 大臣となしむ甘き経
 験は北大隈伯の位に
 清気附きの点の清教
 示を仰がれし仰り
 中放洲の何事一この
 道事申す様なり
 斯の如き事一書祝
 此申上り書祝めり
 書下りし傳言せられ
 し之
 と特別の傳言する
 所を知りたく
 早稲田書局有跡は
 におき、位をたため
 支那人側にも書祝
 三の書局有跡は

匹田鋭金書簡 大隈重信宛

明治40年8月1日

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

I14-B301(1) -1

